



学校だより はんだましい

西原町立坂田小学校
令和6年6月7日
校長 松川 邦昭



6月号



言語は、知的活動の基盤

梅雨



6月に入り、梅雨時のお天気が不安定な時期になりました。台風1号も去りましたが、続く台風やゲリラ豪雨など、いつ起こるかわからない災害にも注意警戒をさらに強めながら、6月に予定していた不審者避難訓練など各行事の開催を進めつつ、子どもたちの安全安心を最優先していきたいと思えます。さて、校長、教頭は、各学級の授業風景を毎日観察していますが、どの学年、どの学級も学習規律（良い姿勢、聞く態度）が整っていて感心します。これもご家庭での指導と先生方の指導の成果だと嬉しく思います。また、子どもたちの声の中には、「先生、トイレに行きたいので行かせてください」と言えたり「のどが乾いたので水を飲みに行きたいです」等と自分の主張がしっかりとできたり、コミュニケーションや言語力も高まってきました。

学習指導要領でも各教科、言語活動を大事にした指導を重視しています。したことや考えたことを言葉によって表現し、言葉を使って考え、言葉によって判断しているからです。言語活動は知的活動の基盤になっているのです。観察、実験、見学して分かったことや考えたことは、記録してレポートにまとめたりします。式をたて、計算をして答えを書くだけでなく、なぜそう思ったか、どうしてなのか「問い」を持ち、根拠を挙げて説明します。推測し、共通例にてらしたり、既習の学習や経験を基に、理詰めで考え、筋道立てて説明します。また、お互いで伝え合い、認め合い、高め合うことで自己肯定感（自分の良さ）も身に付きます。何といつても、同年齢の子どもの学び合いが、一番の刺激になって切磋琢磨する原動力となります。

対話的なグループ学習やペア学習も充実してきました。ご家庭や地域でも、児童の言葉遣いの大切さについて継続して関心を寄せていただければ幸いです。子どもたちの健やかな成長を願っています。



自分を高めようと努力 する姿は、カッコいい！

4月に実施した6年生全国学力調査結果では、大変良い成績をだすことができました。その成果の裏には、日々の授業において、真剣な眼差しで学習問題に取組み、友達と知恵を出し合いながら学ぶ姿勢と、休み時間や放課後、そして家庭学習に黙々と努力を重ねて頑張った子どもたちのこれまでの努力の成果だと思います。いつもカッコいいなと心から思います。自分の可能性を信じて、前へ進み続けて欲しいです。ヒアウイゴー坂田っ子！

日曜授業参観そして、PTA 活動検討会へのご参加ありがとうございました。

5月19日の授業参観日、多くの保護者と地域の皆様においで頂きました。子どもたちは、うれしそうにいつも以上に張り切って授業に参加していました。また、PTA活動検討会でもたくさんの保護者による各専門部会が行われ、子どもたちを想う保護者の姿に感動致しました。感謝します。

平和そして命（いのち）について 6月5日校長講話より

早いもので、もう6月に入りました。6月は、「平和を考える月間」です。みなさんにとって、「平和」とは、何でしょうか。平和とは、「自分の命」「相手の命」を大切にすることから始まる。それが、平和につながっていくと思います。「人の、命の誕生」について、今年もお話しますね。ジャンボ宝くじ1等7億円があたる確率は、1千万分の1。だいたい30億円ぶんの宝くじを買って1等がでる確率です。そして、みなさん一人一人の命が誕生する確率は、なんと1400兆分の1の確率だそうです。これは、もうまさに、「奇跡的な確率」です。みなさん一人一人の命は、「奇跡の命」なのです。みなさん一人一人は、神様から頂いた大事な「命」。お母さんやお父さんの大きな、大きな愛情に包まれて、長い時間をかけて、お腹の中で多くの奇跡を経験しながら、ようやくこの世に誕生しました。その時のお父さんやお母さんは、どんなに嬉しかったことでしょうか。その喜びは、言葉に表せない程の喜びであってほしいです。お父さん、お母さんは心の中で、こう思ったはず。「生まれてきてくれて、ほんとにありがとう」。この気持ちは、その時だけではありません。

いつだって、今だって、「生まれてきてくれて、ありがとう」と心の中で思い続けています。ずっと、すこやかに、無事に成長して欲しいと願っているのです。だから、この「奇跡の命」を大事にして下さい。育ててもらったあなたの命を、大切にしてください。沖縄には、「命どう宝」という素晴らしい言葉があります。どんなに高価な金、銀、宝石よりも、命にまさるものはないよ、という昔の人々の教えです。

今も、この地球上では、戦争や暴力、自殺、虐待、いじめ等、胸が痛くなるような出来事がたくさん起きています。少しでも多くの人達が、人間として生まれ育ち、今、生きている奇跡を少しでも自覚し、気づくことができれば、ほんとうの「平和」がたくさん創れるのではないかと思います。

あたりまえのように何気なく過ぎていく「平和な毎日」をおくっている私たちですが、生まれてくるまでに、たくさんの困難を乗り越えてきた命、一人一人奇跡のような命。自分の命の大切さ、相手の命の大切さについて、考える機会になってほしいと思います。どうか、すこやかに育ちますように。